

事務事業評価（毎年度）のシート

1 概要

各事務事業の担当課が前年度の事業実績を対象として毎年度実施している事務事業評価（行政評価制度の一環）の際に活用しているシート。各事務事業の担当課による自己評価となっており、市のホームページ等で全ての評価結果を公表しているものの、このシートを基にして外部委員で構成する組織や市の別の部署が確認や評価を行う運用ではない。なお、平成27年9月に確定した平成26年度事務事業評価では、対象事務事業数は449件だった。また、現行のシートは、第6次府中市総合計画前期基本計画の開始時期を捉えて、平成26年度分から様式の変更を行ったものである。

2 特徴（今後の補助金見直しの際に参考にできる特長や留意が必要な課題）

- (1) 1ページの「2 事業計画・評価」では、前年度の“実績（D o）”、“評価（C h e c k）”と対象年度の“方向性（P l a n）”を踏まえて対象年度の“実績（D o）”と“評価（C h e c k）”を整理し、更に翌年度の“方向性（P l a n）”に繋げる構成を採っており、評価だけではなく、対象となる事務事業のP C C Aサイクルの全体像を明確に示す資料としている。
- (2) 2ページの「3 指標実績の推移・現状分析」では、指標及びその当初計画値・目標値を設定した上で、実績値の経年変化を捉えて事務事業の実績や成果を定量的に把握する運用としている。さらに、情勢の変化によりやむを得ず計画値の修正が必要な事態に備えて、補正も加えられる仕組みを整えている。しかしながら、指標を設定できていない事務事業や、設定していても活動指標のみで成果指標を示すことができていない事務事業もある。
- (3) 2ページの「3 指標実績の推移・現状分析」の下段の“現状分析”において、①実施主体の妥当性、②民間活力利用の余地、③類似事業との再構築の可能性、④事業成果の把握状況、⑤受益者負担の適格性、⑥他市比較という具体的な項目を設定して、評価の切り口を明確にしている。しかしながら、ここでの分析結果を1ページ下段の「事業の位置付け」という最終結果に結び付ける統一的なルールを定めておらず、定性的な判断となっている。
- (4) 2ページの「4 事業費・人件費等の推移」では、“当初予算額”、“予算現額”、“決算額”のほか、対象の事務事業に携わる職員等の“人件費”や管理事務費を按分した“間接経費”も含めてフルコストを算出し、事務事業に係る費用面の実態を正確に表現している。

事務事業評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 事務事業の概要

事務事業名	商工業振興事業			事務事業コード	40710200
概要	商工業の振興のため、むさし府中商工会議所の実施する事業に対し助成する。				
総合計画	基本施策	5	商工業の振興	主管部課名	生活環境部 経済観光課
	施策	71	中小企業の経営基盤強化の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	昭和48年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市商工業振興事業補助金交付要綱				
市関連事業	中小企業経営安定化推進事業、経営改善事業、等				
対象	むさし府中商工会議所				
実施の背景	むさし府中商工会議所が実施する事業を支援し、商工業等の振興と安定に寄与することが求められたことによる。				
事業目標	商工業等の振興と安定に寄与する。				
事業内容	むさし府中商工会議所が行う、商工まつり、商業祭助成金、商工振興表彰式典、経営情報提供事業、後継者育成事業、中小企業インターネット等活用支援事業及びにぎわいあるれるまちづくり事業の7事業に対して、補助金を交付する。				

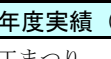
2 事業計画・評価

H25年度実績 (Do)	H25年度評価 (Check)	評価内容
<ul style="list-style-type: none"> ・商工まつり ・商業祭助成金 ・商工振興表彰式典 ・経営情報提供事業 ・後継者育成事業 ・中小企業インターネット等活用支援事業 ・にぎわいあるれるまちづくり事業 		経営情報提供事業について、内容の精査を行うなど、平成26年度に向けての見直しを行った。にぎわいあるれるまちづくり事業については、新規事業として創業支援事業を追加するなど、適宜、事業の見直しを図った。



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H25年度評価に基づく見直し (Action)

H26年度の具体的な取組 (Plan)	H26年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ・商工まつり ・商業祭助成金 ・商工振興表彰式典 ・経営情報提供事業 ・後継者育成事業 ・中小企業インターネット等活用支援事業 ・にぎわいあるれるまちづくり事業 	●継続実施 経営情報提供事業については、内容の精査を行ったうえで事業を実施していく。にぎわいあるれるまちづくり事業については、新規事業として創業支援事業を追加し、事業の実施を図る。



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H26年度評価に基づく見直し (Action)

H26年度実績 (Do)	H26年度評価 (Check)	評価内容 B
<ul style="list-style-type: none"> ・商工まつり ・商業祭助成金 ・商工振興表彰式典 ・経営情報提供事業 ・後継者育成事業 ・中小企業インターネット等活用支援事業 ・にぎわいあるれるまちづくり事業 		現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ・商工まつり ・商業祭助成金 ・商工振興表彰式典 ・経営情報提供事業 ・後継者育成事業 ・中小企業インターネット等活用支援事業 ・にぎわいあるれるまちづくり事業 		経営情報提供事業について内容の精査を行い、情報管理事業について補助対象外とするなど、事業の見直しを行ったうえで、事業を実施した。にぎわいあるれるまちづくり事業については、新規事業として創業支援事業を追加するなど、適宜、むさし府中商工会議所と連携した事業の見直しを図った。しかしながら、事業開始1年目ということもあり、今後の事業の充実を図ることが肝要と思われる。



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H26年度評価に基づく見直し (Action)

H27年度の具体的な取組 (Plan)	H27年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ・商工まつり ・商業祭助成金 ・商工振興表彰式典 ・経営情報提供事業 ・後継者育成事業 ・中小企業インターネット等活用支援事業 ・にぎわいあるれるまちづくり事業 	●継続実施 経営情報提供事業については、今後も、むさし府中商工会議所と連携しながら事業を実施していく。にぎわいあるれるまちづくり事業については、平成26年度に新規事業として追加された創業支援事業の充実を図るとともに、けやき並木イベント事業等、むさし府中商工会議所が実施する事業の支援を継続して図っていく。

平成28年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	むさし府中商工会議所が実施する事業を支援し、商工業等の振興と安定への寄与が図れたことから、現状のまま事業を継続実施していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
むさし府中商工会議所の会員数	2,850	計画値 当初値	2,900	2,950	3,000	3,050	中小企業者の廃業や倒産等により、多少の減少はあるが、むさし府中商工会議所の行う会員増の取組を見守っていく。
		計画値 補正值	-	-	-	-	
	実績	2,841	-	-	-	-	
	-	計画値 当初値	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	32,473,000	29,078,000	27,784,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	32,473,000	29,078,000	27,784,000	0	0	0
予算現額	32,473,000	29,078,000	0	0	0	0
決算額	32,473,000	26,779,000	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	32,473,000	26,779,000	0	0	0	0
執行率	100.0%	92.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.30	0.30				
職員人件費	2,397,710	2,262,515				
嘱託員数	0	0				
嘱託員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	35,247	25,082				
総コスト	34,905,957	29,066,597	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
むさし府中商工会議所が実施する、各種商工業振興事業に対して補助を行うことで、市内商工業等の経営基盤強化に寄与することができた。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
周辺の経済状況等に左右される部分も多く、事業の実施にあたっては、経済状況等に即した事業の展開及び見直しの実施を行っていく必要がある。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H26年度		H27年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	35	05	10	0942000	補助金 商工業振興事業費	29,078,000	26,779,000	27,784,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							29,078,000	26,779,000	27,784,000